

<別紙> 情報提供様式

①事例名	
教員業務支援員の効果的な活用	
②学校名	
栗東市立葉山小学校	
連絡先077-552-0018	
③取組分野(複数選択可)	
<p>■教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)の効果的な活用事例</p> <p>■副校長・教頭の負担軽減に関する取組 (学校経営骨太モデル事業、副校長・教頭マネジメント支援員の活用等)</p>	
④直面していた課題(取組前の様子)	
<p>教員業務支援員の配置が定着し、教員からの依頼が急増していることに加え、教頭の事務負担も支援員へ切り出すべき状況にあるため、1日3時間の勤務では効率を上げて業務が完結しない状況にある。</p>	
⑤在校等時間の縮減に向けた具体的な取組内容	⑥参考となる写真や資料を添付
<p>教員業務支援員と教頭マネジメント支援員の両方で任用配置(午前は教頭マネジメント支援員、午後は教員業務支援員)</p> <p>「学校全体への支援」と「教頭のマネジメント支援」の2つの役割を明確に整理し、限られた勤務時間の中で最大限の成果を出せるよう効果的な活動に努めている。</p> <p><u>取組のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・任用者は市役所での学習支援員としての経験があり、学校現場と行政の仕組みを熟知する強みを活かし、幅広い業務に即応できる体制を整えた。 	<p>印刷業務</p>  <p>諸帳簿照合業務</p> 
⑦取組の成果	
<p>一人二役の強みを活かし、教員支援と教頭支援の両面から学校運営を一体的にサポートできた。</p> <p><u>成果のポイント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来なら未経験者への業務説明に要する時間を、市役所の学習支援員としての豊富な経験によって大幅に削減できたことが、実質的な支援時間の創出と、より高度な業務への即応に直結できた。 	